

## 教員養成に対する理念

### ①大学

本学の教員養成では、教員に必要とされる教職並びに教科についての知識と理解、適切なコミュニケーションに基づき他者と連携・協力する力、高い倫理観そして現代の学校教育現場をとり巻く様々な問題の解決に主体的・積極的に取り組もうとする態度とそれを実践する力とを備えた教員の育成を図ることを目的とする。

この理念に基づき、次のような構想をもって教員養成を行うこととする。

- a. 教育委員会や学校、社会教育機関等との緊密な連携をとり、学外での体験・研修を経験させることにより、教育現場の現状についての理解を図る。
- b. 実験や演習を中心とする実践的・体験的な専門教育を通して、教科に関する知識・技術と高い倫理観を身に付ける。
- c. アクティブラーニングを通して、主体的に問題を見つけ、解決する方法を修得し、課題に取り組む態度の育成を図る。

### ②各学科等

#### 電気電子工学科(工業・情報)

電気電子工学科では特にエレクトロニクスに関する専門知識を習得した教員の養成を目指している。現在の情報化社会を支える電子機器の多くはマイクロコンピュータを内蔵し、その中で動作するプログラムに従って複雑な機能を実現している。従って、エレクトロニクスの技術者には、電子回路、アクチュエータ、各種センサーなどのハードウェアだけでなく、C言語やアセンブラなどソフトウェア技術に関しても幅広い知識が必要となる。今後さらに加速する情報化社会において、このような技術者への産業界からのニーズはますます高まると予測される。この社会的要請に応えるため、電気電子工学科はハードウェアとソフトウェア両方に関する幅広い知識を身に付け、急速な技術革新に柔軟に対応できるエレクトロニクス技術者を育成することを目指している。

この学科の教育目標に基づいて、電気電子工学科では電気工学、電子工学、情報工学という工学と情報の領域の基礎分野に関する知識に精通し、高いコミュニケーション能力を備えた教員の養成を行う。

#### 情報通信工学科(工業・情報)

情報通信工学科は、21世紀の豊かな人間社会を創る上で重要な技術基盤である情報通信技術をソフトウェア、ハードウェアの双方に関し深く教育・研究すると共に、それらを統合・発展させて社会に貢献できる人材を育成することを使命とする。

その使命を果たすため、コンピュータを中心とした情報処理技術と、携帯電話や光通信に代表される通信技術を体系的に学ぶことのできる教育プログラムにより、ハードウェアとソフトウェアの両方の専門知識を有し、幅広い視野から物事をとらえることのできる、高い倫理観を持った情報処理技術者を育成することを学習・教育目標としている。

上述の学科の性格・目的から、工業と情報の領域の確かな基礎を持ち、幅広い視野と高い倫理観を持った、情報処理に秀でた教員の養成を理念とする。

### 都市マネジメント学科(工業)

都市マネジメント学科は、建設技術に関する学術を広く教育・研究すると共に、社会の要請に十分対応できる専門的知識及び科学的知識を身に付け、かつ事業あるいは技術のマネジメント能力を有し良識と倫理観をもち、地域社会において活躍できる人材を育成することを使命とする。

その使命を果たすため、本学科の学生は(A)良識と倫理観、(B)科学的知識、(C)自己啓発、(D)相互理解と協力、(E)専門的知識、(F)語学力と国際性の6つの能力を習得できるように学習し、教員はそれらを身につけられるように教育することを学習・教育目標としている。

上述の学科の性格・目的から、工業の領域の確かな基礎を持ち、高い良識と倫理観を持った、都市や地域社会のマネジメントに関わる高度な知識と能力を有する教員の養成を理念とする。

### 環境応用化学科(工業)

環境応用化学科は、持続可能な社会の実現および地域社会の発展を目指して、応用化学と環境学を重視した工学を教育の理念とし、広範な工業技術をその基盤とする材料開発・管理・製造技術と、環境調査・影響評価を有機的に結び付け、活用できる人材を育成することを使命とする。

その使命を果たすため、応用化学および環境学の体系的教育を基盤とする持続可能な社会実現のための化学資材の開発やその製造技術、地球生態系の適切な保全技術と社会におけるその応用を有機的に結び付け、持続的に発展可能な社会実現を目指して創造的に活躍することのできる人材を育成することを学習・教育目標としている。

上述の学科の性格・目的から、持続可能な社会の構築に向け、応用化学の発展と地球環境保全の調和をめざす高度の解析処理能力を基盤とした視野の広い工業教育を行う教員を養成することを理念とする。

### 建築学科(工業)

建築学科は、快適な生活空間を考えるソフト面と、建物を建設するためのハード面をバランスよく教育・研究すると共に、建築に関する実践的な技術と柔軟な創造力を基に、広く多様な分野で指導的役割を担う人材を育成することを使命とする。とくに、地域環境と人間社会を豊かにする建築学を創造し、①建物を作る知識や技術、②建物を適切に計画する知識や技術、③建物を使いこなすための知識や技術の習得を目指すことにより、持続可能な社会と環境の構築に寄与することを教育上の目的とする。

具体的には、建築設計、計画、歴史、生産・施工、環境・設備、構造、建築法規などの建築に関わる専門分野を偏りなく、習得することを学習・教育の目標としており、一連の専門科目を通して、①多文化／多分野理解能力、②コミュニケーション能力、③プレゼンテーション能力、④タイムマネジメント能力、⑤論理的思考力、⑥自己理解力、⑦問題発見／解決能力、⑧企画力、⑨調査能力、⑩IT能力、の“10の学士力”の修得を目指している。

上述の学科の性格・目的から、工業の領域の確かな基礎を持ち、総合的な視野と実践的な態度を持った、建築に秀でた教員の養成を理念とする。

### 産業デザイン学科(工業)

産業デザイン学科は、人々の生活を豊かにする製品や情報システムを総合的な見地から企画、設計、生産するために必要な感性と技術を教育・研究すると共に、それを創造的に作りあげることができる人材を育成することを使命とする。

その使命を果たすため、工学をベースとした文理融合型の教育を目標としている。

上述の学科の性格・目的から、工業の領域の確かな基礎を持ち、幅広い視野と高い倫理観を持った、問題把握力とその解決のための具体的な提案力に秀でた教員の養成を理念とする。

### 生活デザイン学科(工業)

生活デザイン学科は、健康で文化的な生活を守り、住まいや地域社会などの基本的な生活手段を守りながら、安全で安心な暮らしと豊かな生活環境を総合的にデザインすることができる人材を育成することを使命とする。

その使命を果たすため、工学をベースとし、家政学や保健衛生学などを取り入れた分野横断型の教育を行うことを学習・教育目標としている。

上述の学科の性格・目的から、工業の領域の確かな基礎を持ち、幅広い視野と高い倫理観を持った、住まいや地域のデザインに秀でた教員の養成を理念とする。

### 経営コミュニケーション学科(商業)

経営コミュニケーション学科は、企業組織のマネジメント及び企業の環境マネジメントを中心とする経営コミュニケーション学を研究すると共に、情報技術を含む高いコミュニケーション能力と国際的なセンスを持ち、現代の経営スタイルを身につけた経営者、管理者、起業を志す人材を育成することを使命とする。

その使命を果たすため、新しい経営スタイルを身につけた経営者や起業家などを目指し、経営、ICT(情報コミュニケーション技術)、コミュニケーションの各側面から実践的な知識とスキルを養う。事業に対する経営力と構想力、経営目標達成のための判断力と情報調査・処理能力、組織と環境をマネジメントできるコミュニケーション能力を養成する。

上記の学科の性格・目的から、商業の領域の確かな基礎を持ち、幅広い経営に関する知識とコミュニケーションに関する実践力を持った教員の養成を理念とする。